

学校栄養職員と楽しく食の勉強をする子ども達



生活の多様化にともない、子ども達の食生活も大きく変化しています。朝ごはんを食べない、おやつやジュースをとり過ぎる、個食・孤食など食生活に乱れが起きている。また、時代の流れとともに、食卓を家族みんなで囲むという機会が少なくなり、食料を生産する人や場所と消費

食べることの大切さを見直そう

◎地元でとれる新鮮で安心な旬の野菜を食べることができ
◎地元の農業を知り、自然や生産者に感謝の気持ちが芽生える
◎地元の農業の振興が図られるなど、生産者・消費者ともに

「地産地消」を学校給食に
皆さんは「地産地消」という言葉をご存知でしょうか。これは「地域生産地域消費を略した言葉で、地域でとれた食材（地産）をその地域で消費する（地消）ということです。」

「地産地消」は、◎地元でとれる新鮮で安心な旬の野菜を食べることができ◎地元の農業を知り、自然や生産者に感謝の気持ちが芽生える◎地元の農業の振興が図られるなど、生産者・消費者ともに

時代の流れとともに、さまざまな変化をする子ども達の食生活。今、給食センターでは、学校給食や栄養指導を通して、子ども達に「食べ物の大切さ」を教えています。子ども達が正しい食の知識を持ち、心も体も健康に暮らしていけるよう支え応援しています。



新鮮な地場野菜で

安心安全な学校給食

安心して安全な野菜を子ども達に

蔵本清治さん（横並地区）
道の駅いながわや量販店に出荷していたところ、J A兵庫六甲猪名川営農支援センターから、給食用野菜の栽培の誘いがあり、昨年の4月から、じゃがいも・とうもろこし・白菜・キャベツなどの野菜を出荷しています。支援センターから話があった時は、決められた量を規定の規格で作ることができるか心配しましたが、子ども達に新鮮で安全な地場野菜をたくさん食べて欲しいとの思いから、誠心誠意で野菜作りに取り組んでいます。



▲出荷前の白菜の生育をチェックする蔵本さん

農家の皆さんと力を合わせて

横井英男さん（J A兵庫六甲猪名川営農支援センター営農相談員）
6年前から納品している地元産米に加え、平成15年度より給食用地場野菜の納品も行っています。平成15年度に手掛けた、とうもろこし・大根・白菜・キャベツの4品目が順調に納品できたことから、現在は契約農家を増やし、種類・量ともに充実するようがんばっています。今後は、たまねぎ・にんじん・じゃがいもなど給食でよく使われる野菜の栽培量を増やしていくとともに、支援センターが町の特産品に推奨している栗や自然薯（じねんじょ）などの食材も提供できたらと考えています。

給食用野菜は、市場や道の駅いながわへの出荷とは異なり、納品する量や日程が決まっているため、収穫時期が遅れるなどのハプニングが起こると大変です。しかし、これからも農家の皆さんと力を合わせ、猪名川町の子ども達のために給食用地場野菜の普及に努めたいと思っています。

栄養指導を受けた子ども達の感想

今日やったのは、お米の事と日本食の事と日本人の主食とかを習いました。わたしは和食の方が好きです。今、外国から日本人の栄養バランスがそんけいされていると聞き、日本人はすごいと思いました。今日、お米の大切さと大事さがわかり食べ物を大事にしていこうと思いました。

つづじが丘小学校5年 前田 菜耶さん

わたしは、「からだのちょうしをととのえること」「力をたくわえること」「体をつくること」その3つの話を聞いて、たべものをそまつにしていけないなあと思いました。でもきらいなたべものをたべていなかったこともあったので、それらがんばってたべないとだめだなあと思いました。牛にゅうがわたしはきらいですが、がんばって飲みます。わたしは、「ま夜中のだいかいぎ」のかみしばいは、自分の体をだいにしようということであらわしているかみしばいでとてもおもしろかったです。これからはもっともったべものをそまつにしないでしっかりたべれたらいいなと思いました。

猪名川小学校3年 坂口 のぞみさん

きゅう食しどうのとき、かみしばいをよんでくれて、すききらいなくたべようとおもったし、きらいなものにどんどんなれていこうとおもいました。きゅうしょくしどうのときは、ありがとうございました。

大島小学校3年 井上 のりこさん

品 目	量 (kg)
たまねぎ	1,032
じゃがいも	522
にんじん	121
青ねぎ	202
なす	20
とうもろこし	676
パセリ	2
大根	316
白菜	642
合 計	3,533

地場野菜を使った給食用レシピ

地場野菜を使った学校給食のメニューです。皆さんも一度ご家庭で作ってみませんか。 ※分量は、小学3・4年生の1人分の材料です。数値はすべてグラムです。

カレー肉じゃが

＜材 料＞	
薄切り牛肉	30
じゃがいも	60
たまねぎ	40
にんじん	20
つきこんにやく	20
さやいんげん	10
しょうゆ	5
さとう	4
みりん	2
カレー粉	0.5

大根サラダ

＜材 料＞	
大根	20
ハム	15
きゅうり	15
白ごま	0.5
塩	0.2
こしょう	少々
マヨネーズ	7

給食センターの施設見学者募集

学校給食を住民の皆さんに広く知っていただくため、給食センターでは、施設見学を随時行っています。学校給食に関心のある人は、見学にお越しください。

実施日 学校給食のある日
対象 町内在住で、10人以上40人未満のグループ
見学内容 作業風景の見学・施設や学校給食全般の説明・給食の試食（希望者のみ）
参加費 無料 ※ただし試食希望の場合は1人250円
申込みは、2週間前までに、給食センター（766-0219）へ。

木津総合会館より

パソコン教室

コース・内容など 下表の通り
時間 いずれも午前10時～正午
ところ 木津総合会館
定員 各教室6人（多数抽選）
参加費 無料（教材費は実費徴収）

各教室の日程	教室名	月 日	内 容
かめさん教室1	2月7・14日	ゆつくり進む入門コース	
	3月18・25日		
こあら教室	2月18・25日	託児つき教室	
	2月28日	かめさん教室終了者向け	
うさぎ教室	3月7日		

※2日間通じて出席してください

申込み・問い合わせは、1月17日から同21日までに、電話で木津総合会館（768-0217）へ。

社会福祉協議会・嘱託職員・臨時職員を募集

町社会福祉協議会では、次のとおり、嘱託職員・臨時職員を募集します。

【嘱託職員】
●募集要件 昭和34年4月2日以降出生し、管理栄養士または栄養士資格を有する人
●募集人数 1人
●勤務時間 午前8時45分～午後5時30分（週休2日制）
●給与 17万3360円
●職種 痴呆対応型共同生活介護（グループホーム）の夜間管理員

【臨時職員】
●募集要件 昭和29年4月2日以降に出生し、ヘルパー2級課程以上の資格を有する人
●募集人数 1人
●勤務時間 午後5時～翌日午前9時（月7日程度）
●賞金 1万2020円（1日）

いずれの応募者も、市販の履歴書（顔写真添付）に記入し、1月25日までに、持参もしくは郵送（必着）のこと。

申込み・問い合わせは、社会福祉協議会（766-1200）へ。

ゆうあい“いきいき”教室 参加者募集

とき 1月28日～3月18日（毎週金曜日・全8回）午前10時30分～正午
ところ ゆうあいセンター機能回復訓練室
対象 町内在住の60歳以上の人
教室名 ダンベル体操教室（ダンベルを使って運動し、肩こり、腰痛を改善）
講師 秦井治子さん
持ち物 運動しやすい服装・タオル
参加費 1,000円（保険代含む）
定員 15人（多数抽選）※参加者は健康に問題のないことを確認のうえ、本人の責任で参加してください
申込み・問い合わせは、1月21日までにゆうあいセンター（766-1200）へ。

あきま 東 瑞規ちゃん
1歳5カ月（白金）

あした 芦田 晴くん
1歳6カ月（紫合）

抱っこして欲しい時、「おいでー」と言って両手を差し出す瑞規ちゃんが、みんな大好きです。
父 洋貴・母 裕子さん

にいに似て、やんちゃ盛りのはる。大好きなアンパンマンのように、強く優しい人気者になってね。
父 寿・母 志歩さん

はい！ポーズ